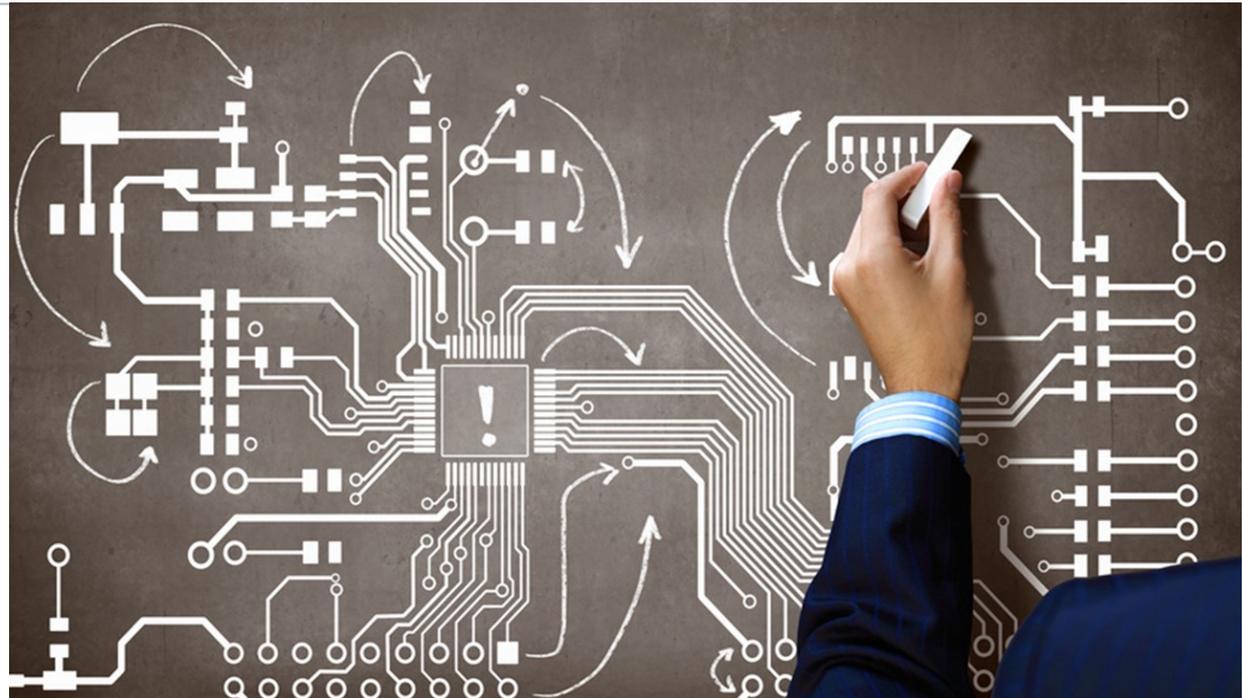


1. **AI IoT Robotics Automotive部会主催セミナー**
2. **オープンCOBOLソリューション部会主催セミナー**
3. **開発基盤部会主催セミナー**
4. **教育ICT部会**
5. **クラウド部会主催セミナー**
6. **データベース部会主催セミナー**
7. **東海支部主催セミナー**
8. **ビジネスアプリケーション部会主催セミナー**
9. **分散コンピューティング部会主催セミナー**

# AI IoT Robotics Automotive部会

2017年6月版



## 部会紹介

---

## (1)目的

組込みで使えるオープンソースを比較検討し、長所や問題点の議論を行うと共に、情報を共有し、組み込みにおけるOSSの普及・利用促進に向けた活動を行う。

昨今のAI利用の流れに従い、AI・機械学習関連オープンソースの応用検討も合わせて行う。

## (2)参加対象

組込みで使えるOSSに興味がある人

## (3)活動内容

Android, Linux, BSD, OpenSolaris, GTK, OpenGL ES, OpenCVなどの従来のOSSに加え、Tensorflow, Caffe, Chainer等AI・機械学習系OSSの組込み応用について調査や、議論する。

## (4)活動周期

部会を二ヶ月に一回

場所: 都内で開催

## (5)メリット & 成果物

組込みでのOSS活用技術及び動向に関する最新情報が入手できる。

部会での調査・議論結果を成果物として展開組込み部会主催のセミナー実施をする。

## 部会リーダー

- ・ 株式会社アックス代表取締役社長 竹岡 尚三



竹岡 尚三

# CPE部会活動内容

---

## ● 無料セミナー開催

- 年 3～4 回 最新の組み込みOSSに関する情報の提供
- 組み込みとクラウド応用,センサデバイスの活用,ロボットなどを特集

## ● 初心者向けハンズオン企画・実施

- はんだ付けの実践から、完成したものを活用した応用

## ● 女子部活動 支援

- 女性エンジニアや女性入門者の活動支援
- 現在女子部部長不在のため絶賛募集中

# 東京でのセミナー開催実績

---

- 2016年8月6日 「女子にも優しいIoTハンズ・オンセミナー」
  - JASA会議室にて開催
  - Raspberry Piを活用したセンシングハンズ・オン
- 2016年8月23日 「女子にも優しいIoT Azureハンズ・オンセミナー」
  - 日本マイクロソフト本社にて開催
  - IoT ALGYANとの共催でAzure活用とセンサデバイス利用の応用
- 2017年5月19日 「いまさら聞けないIoTクラウド超入門」
  - JASA会議室にて開催
  - DB部会との合同セミナーとしてセンシングとDBの応用、データの見える化について実施

# 過去の女子部の活動の様子

- いわゆるハンズオン
- Android連携マイコンなど



女性エンジニアが  
 ほんだ付け勉強会  
 OSSコンソーシウム  
 組込み部会女子部主催  
 オープンソースビジネス  
 推進団体であるOSSコン  
 ソーシウム(会長||渡辺剛  
 喜・サイバークム副社長)  
 の組込み部会女子部主催に  
 よる「ハンダ付け勉強会」  
 が23日、若松通商6階のア  
 キバNET館で行われた。  
 女性エンジニアから「は  
 んだ付けを体験し、ものづ  
 くりをしたい」という声が  
 上がり実現したもので、今  
 回が4回目の開催。参加者  
 は組込み系、IT系など部  
 会以外の一般参加もあり、  
 女性5人、サポート男性6  
 人。書籍付録の基板を利用  
 し、Arduino互換ボ  
 ードを作成した。  
 参加者からは「ほんだ付  
 けは経験しておいた方がい  
 いと思った」「業界の人と交  
 流できる場がうれしい」と  
 様々な声があ  
 がっていた。  
 小暮敦彦ア  
 キバNET館  
 館長は「当館  
 は、技術者の  
 交流の場とし  
 て新ビジネス  
 モデルの創出  
 を図ることも  
 目的。こうい  
 う勉強会は歡  
 迎する」と話  
 す。

女子による女子のための勉強会  
 (アキバネット館で)

# 過去の女子部の活動の様子



1. AI IoT Robotics Automotive部会主催セミナー
2. オープンCOBOLソリューション部会主催セミナー
3. 開発基盤部会主催セミナー
4. 教育ICT部会
5. クラウド部会主催セミナー
6. データベース部会主催セミナー
7. 東海支部主催セミナー
8. ビジネスアプリケーション部会主催セミナー
9. 分散コンピューティング部会主催セミナー

# 「オープンCOBOLソリューション部会」 のご紹介

---

2018年7月2日

OSSコンソーシアム  
オープンCOBOLソリューション部会

# Agenda

---

- オープンCOBOLソリューション部会の紹介
  - 概要
  - opensource COBOLについて
  - 活動状況
  - 今年度の活動計画
- リーダ、参加メンバー企業紹介

# 目的

---

- 基幹システムでのOSS普及を背景として、プロプライエタリな環境が一般的なCOBOLの開発においてもオープンソースのメリットを活かすため、**OSS COBOL**を**技術・ビジネスの両面からサポート**できるように整備していき、**基幹システムにおけるOSS化の普及・促進に貢献**する。

# 対象

---

- OSS COBOLをはじめとするOSSの基幹システムを提供している企業、技術者
- OSS COBOLをはじめとするOSSの基幹システムを利用しているユーザ
- OSS COBOLをはじめとするOSSの基幹システム採用に興味のある企業、技術者、ユーザ

# 活動内容

- 国内でも実績のあるOSS COBOLのOpenCOBOL 1.1 pre-releaseをベースに、処理系自身の既知のバグや未実装機能および有用と思われる拡張機能などの情報を共有する。そのうえで、実システムへの適用を促進するため、**opensource COBOLの修正・拡張をリリース**する
- OSS COBOLの認知度向上と、ビジネス適用のために必要なドキュメント等を整備する
- オンライン・Face-to-Faceミーティングを通して、参加企業間でのOSS COBOLを中心とした**ソリューションビジネスの検討、又協業を検討**する
- 部会内ミーティングの開催(隔月)
- セミナーの開催

# opensource COBOLのご紹介

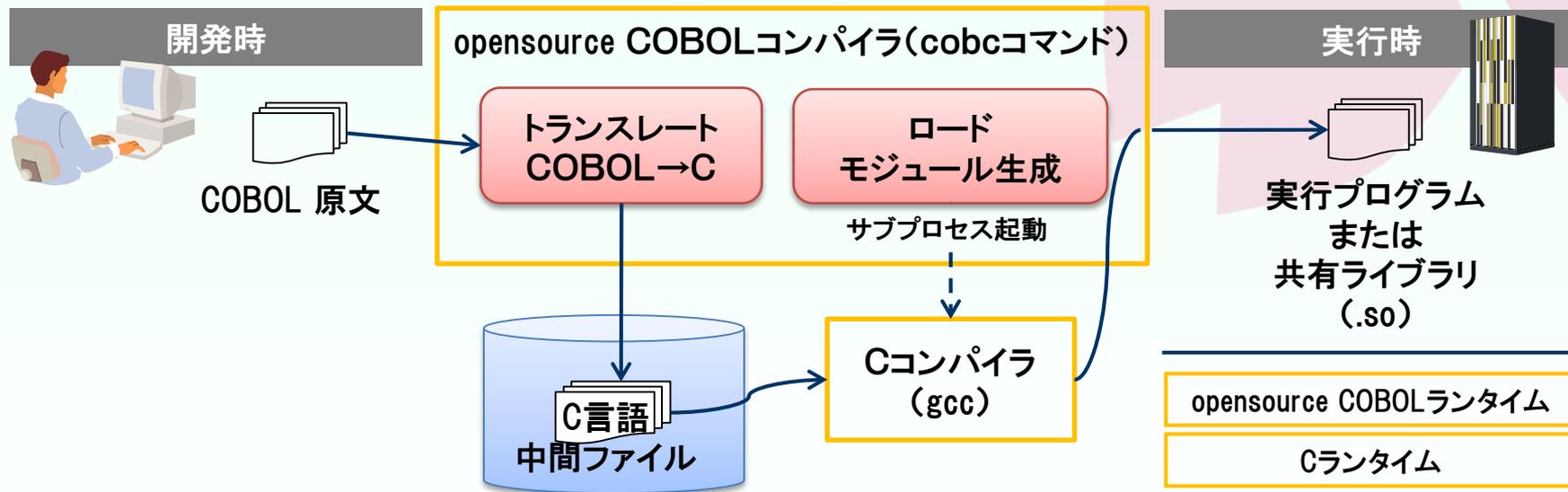
言語仕様

基本的にCOBOL85準拠

構成

コンパイラ+ランタイム

Cトランスレータ方式のため、前提製品としてCコンパイラを必要とします  
(Linuxの場合はgcc、Windowsの場合はcl.exe。)



# メリット & 成果物

---

- **opensource COBOLの開発コミッタになれる！**
- 基幹システムへのOSS適用についての情報の入手
- 基幹システムへのOSS適用についての協業の検討
- セミナー実施、報告

詳細は <http://www.osscons.jp/osscobol/> にて

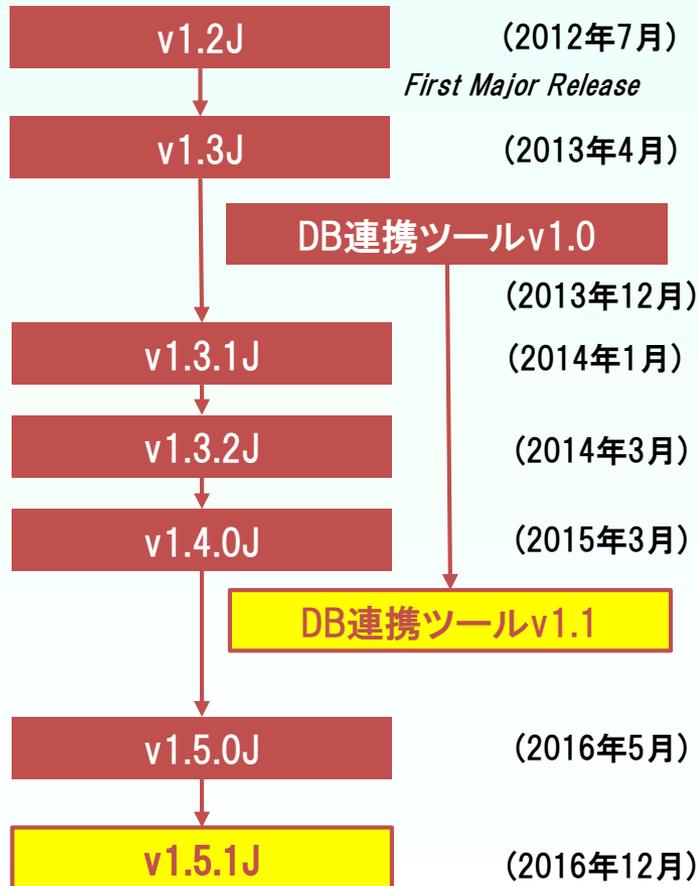
# 活動報告(2017/07～)

日付	内容
2017/07/26	第38回部会
2017/07/28	OCESQL v1.1 githubにて公開
2017/09/27	第39回部会
2017/11/27	第40回部会
2017/12/08	OSC .enterpriseセミナー講演とブース出展
2018/01/12	第41回部会
2018・01/28	オープンソースカンファレンス 2017 OSAKA 展示
2018/03/20	第42回部会
2018/05/18	第9回オープンCOBOLソリューション部会セミナー開催
2018/06/15	第44回部会

# 活動報告

## opensource COBOL

### 関連ツール



## opensource COBOL主な拡張

- 日本語(SJIS、UTF-8対応)機能のサポート
- ユーザファイルハンドラのサポート
- Windowsネイティブのサポート
- CUIを拡張
- 比較処理等、処理系をCOBOL仕様と同じに変更
- 既存COBOLソースに使われている文、関数をサポート
- 既存COBOLソースでの緩い仕様をサポート
- バグフィックス

...etc.

日本のビジネス適用に  
必要な機能を拡張

# 実績

## • ダウンロード数

### – opensource COBOL

#### • v1.5.1J

- tarball,SJIS: 629件(+94件)
- tarball,UTF-8: 480件(+88件)
- ZIP,SJIS: 1085件(+158件)

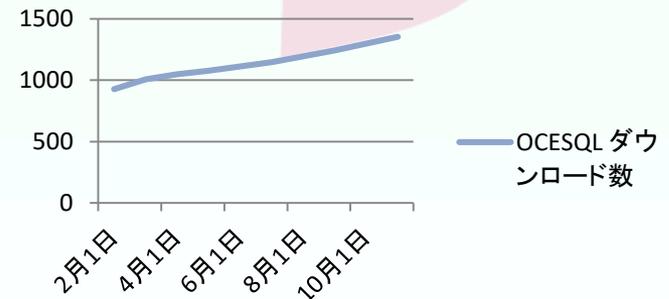
### – Open COBOL ESQL

#### • v1.1.0: 1355件(+112件)

- ※ 2017/11/1まで  
(括弧内は 2017/07/25からの増加分)



## OCESQLダウンロード数



# 2018年度活動計画

- 技術、ビジネスなどテーマ毎の展開
  - － 技術テーマWG
    - opensource COBOLの拡張とバグフィックス
      - 各種パッチの取り込み v1.6.0 ? (~2018.7 予定)
    - 上記以外の周辺ツール(埋め込みSQLライブラリ等)の開発
  - － ビジネステーマWG
    - セミナー 1回(東京)
    - OSC出展
- 隔月ベースで部会開催
  - ✓ 次回部会開催
  - 2018年8月30日 16時30分～ @株式会社CIJ様 横浜本社

# リーダー

---

東京システムハウス株式会社

マイグレーションソリューション部 スペシャリスト 井坂 徳恭

有限会社ランカードコム 代表取締役 峰松 浩樹

# 参加企業

---

- 株式会社アックス
  - 株式会社エネルギー・コミュニケーションズ
  - 株式会社CIJ
  - サン情報サービス株式会社
  - 株式会社JP情報センター
  - 東京システムハウス株式会社
  - 株式会社バイガコーポレーション
  - 株式会社日立ソリューションズ
  - 有限会社ランカードコム
- (五十音順)

1. AI IoT Robotics Automotive部会主催セミナー
2. オープンCOBOLソリューション部会主催セミナー
3. **開発基盤部会主催セミナー**
4. **教育ICT部会**
5. クラウド部会主催セミナー
6. データベース部会主催セミナー
7. 東海支部主催セミナー
8. ビジネスアプリケーション部会主催セミナー
9. 分散コンピューティング部会主催セミナー



# 開発基盤部会 2018

---

リーダー 西野大介



部会名称を変更します。

.NET開発基盤部会 -> 開発基盤部会

理由：

これまでの活動内容が、「Windows上の .NET Framework」に縛られていたが、昨今、クロス・プラットフォームの .NET Core, JavaScript, Linux (Docker) 標準化された OAuth2 / OIDC などへ取り組みのシフトがすすんだため。



## ～企業のITインフラのポートフォリオの拡充～

issueを解決するために使用する各種オープンな要素技術やプラットフォームを、幅広い開発技術を用いてパッケージ（統合）する。

また、その際の効率向上も行う。そして、これら技術的アウトプットを継続的に公開する。



- アウトプットの作成と公開。  
<https://www.osscons.jp/dotNetDevelopmentInfrastructure/>
- Pukiwiki
  - <https://opentouryo.osscons.jp/>
  - <https://techinfoofmicrosofttech.osscons.jp/>
  - <https://dotnetdevelopmentinfrastructure.osscons.jp/>
- GitHub
  - <https://OpenTouryoProject>
  - <https://github.com/NetDevInfraWGinOSSConsortium>
- NuGet, SlideShare, Youtube, etc.
  - <https://www.nuget.org/profiles/daisukenishino77>
  - <https://www.slideshare.net/daisukenishino/presentations>
  - [https://www.youtube.com/playlist?list=PLBLCf3w5hsJcniuqCDE1U\\_p7\\_SHmWnHV5](https://www.youtube.com/playlist?list=PLBLCf3w5hsJcniuqCDE1U_p7_SHmWnHV5)



- セミナー開催、カンファレンスへの出展。
  - OSC 広島
  - ソリューションの出展
  - , etc.
- サブ・ワーキング (SW)
  - Open棟梁 開発 SW
  - Apache NiFi 応用 SW
  - 汎用認証サイト + FIDO2認証器 連携 SW
  - Webサービス開発 SW (停止中)



- 開発環境をもっとオープンに。
    - ASP.NET Core on LinuxでDevOps
    - Node.js系のCLIツールにシフト
  - クロス・プラットフォームを実現する、  
Platforms & Toolsを使用して、
    - FIDO2, OpenID ( OAuth2 / OIDC /  
Financial-API ) などの認証技術
    - スマホの Frontend & Backend  
アプリケーション開発技術 (mBaaS)
- の研鑽を積む。



- 認証 :  
OpenID (OAuth2/OIDC/Financial-API), FIDO2
- SPA :  
JavaScript, React.js, etc.
- モバイル :  
Apache Cordova, mBaaS, etc.
- ランタイム :  
.NET Standard, .NET Core.
- プラットフォーム :  
Linux(Docker), Android, iOS, etc.
- OSSプロダクト :  
Apache NiFi, etc.



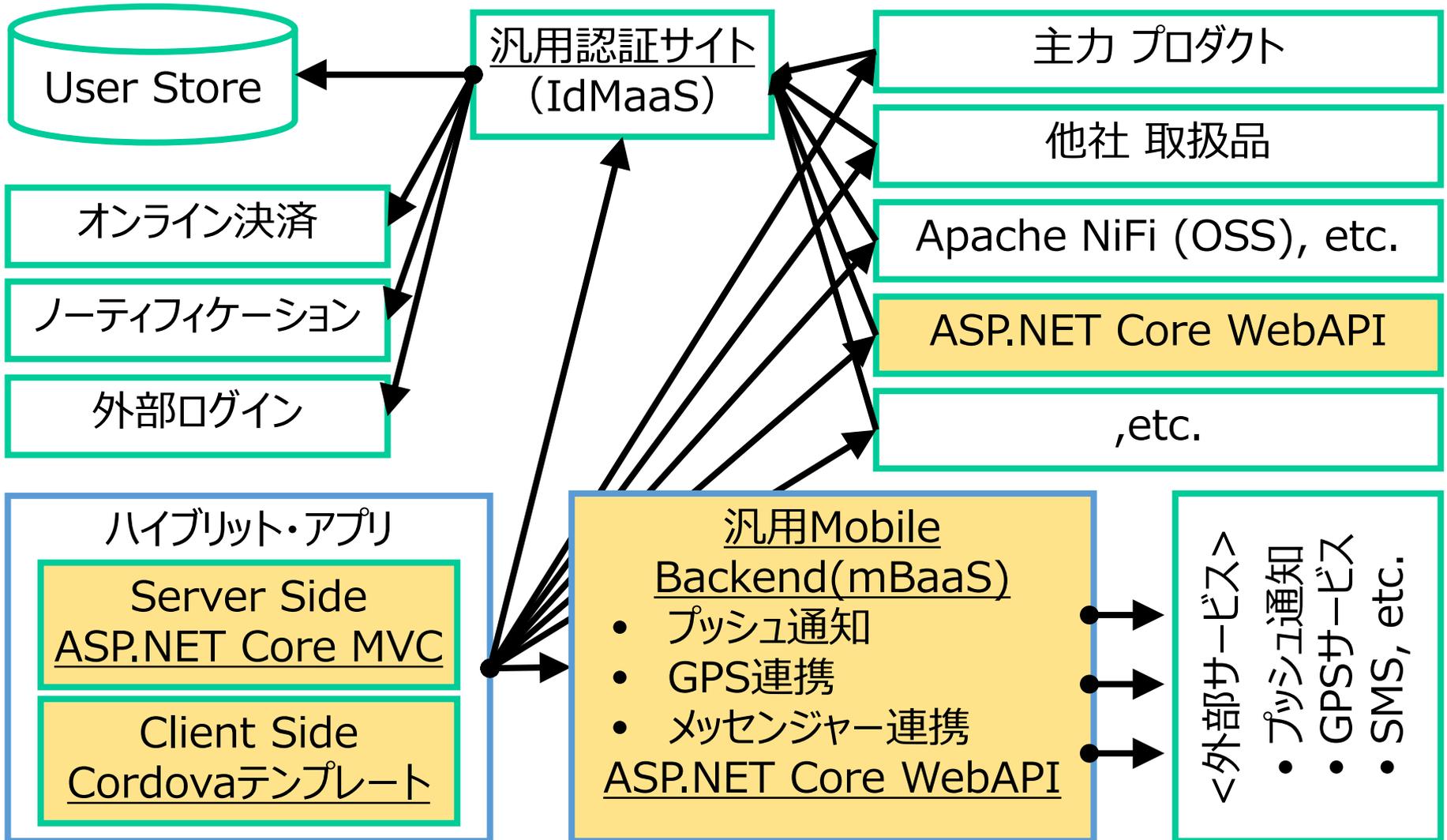
- リリース予定

- 汎用認証サイトの OAuth2拡張, Financial-API対応
- 汎用モバイル・バックエンドの新規リリース
- Open棟梁 の .NET Standard、.NET Core対応
- 非同期処理サービスの分割リリース

- ソリューション化検討

- OAuth2 / OIDC / Financial-API対応
- JavaScript, Apache Cordova + mBaaS開発
- .NET Standard、.NET Core、ASP.NET Core移行対応
- Open棟梁や各種サブ・コンポーネントを使用した各種開発

以下をOpen PaaS上に一括デプロイ -> **超高速開発。**





# 実績と計画 (1)

2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
オープンソース化に伴い、 .NET開発基盤部会を設立	機能強化 停滞(SIサポートの限界)。	サービス開発の スタートアップを試行	サービス開発基盤と、 認証基盤のリリース	部会名称変更：開発基盤部会 ----- .NET Standard, .NET Core対応。 JavaScript, React.js, Cordova, Financial-API, SPA, Mobile 対応。 Linux, Docker 対応。	OSS 評価・連携 DevOps ,IoT, AI	



## ① v 1.0系 (2007-2016)

高い品質・信頼性、生産性、柔軟性 (QCDF) を実現する、エンタープライズ・システム向けの開発基盤を提供。

## ② v 2.0系 (2017-2019) <- **今ココ。**

OpenID系認証, JavaScriptフロントエンド、ASP.NET Coreバックエンド技術で、Cloud & Mobileアプリ開発などのサービス開発のニーズを満たす。

## ③ v 3.0系 (2020-202x)

Windows, Linux, Public Cloud, Open PaaS, AI, IoTなど、エンタープライズ・システムのITインフラのポートフォリオを拡充させる。

お待ちしております。

お気軽に  
ご参加下さい。

開発基盤部会 - OSSコンソーシアム

<https://www.osscons.jp/dotNetDevelopmentInfrastructure/>

1. AI IoT Robotics Automotive部会主催セミナー
2. オープンCOBOLソリューション部会主催セミナー
3. 開発基盤部会主催セミナー
4. **教育ICT部会**
5. クラウド部会主催セミナー
6. データベース部会主催セミナー
7. 東海支部主催セミナー
8. ビジネスアプリケーション部会主催セミナー
9. 分散コンピューティング部会主催セミナー

# 教育ICT部会の紹介

株式会社オープンソース・ワークショップ

永原 篤

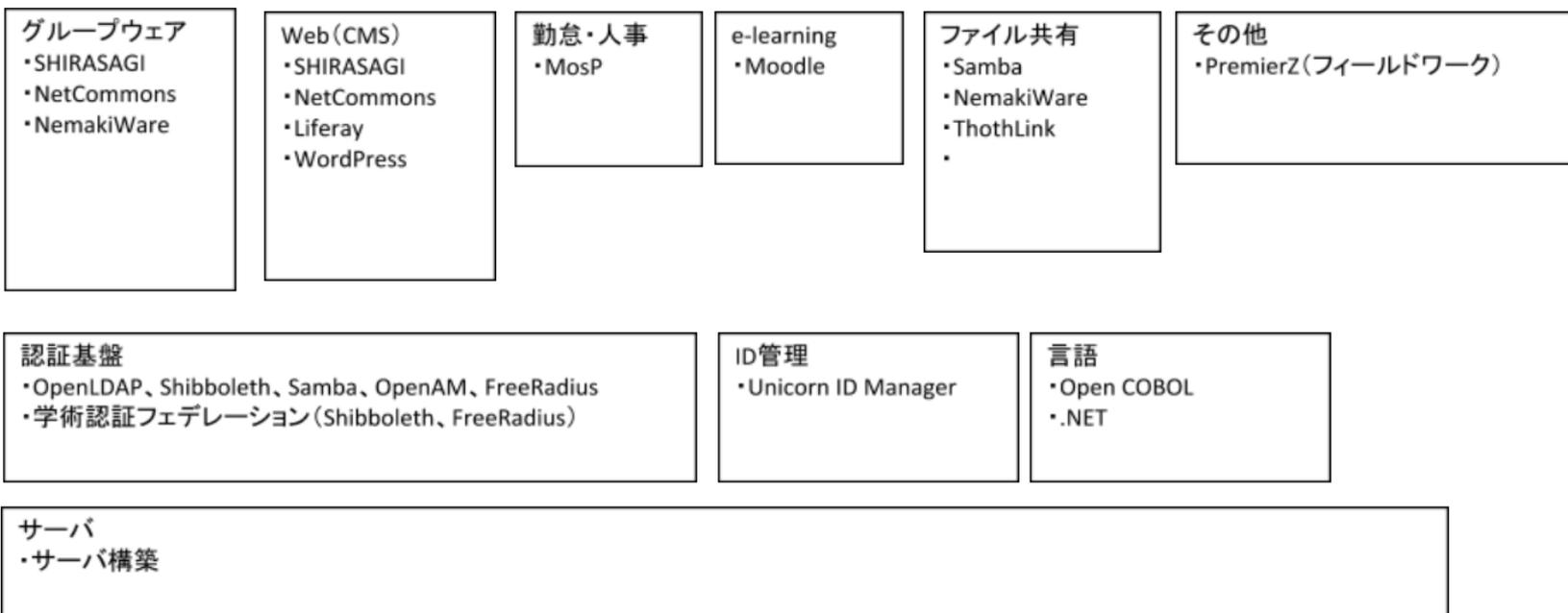
# 大学の数

- 大学数 764

国立82, 公立87, 私立588, 大学校7

- 学部数 2,307
- 学科数 5,146

# 教育関係で使用されるOSS



# 教育ICT部会の目的

～大学、研究機関などへのOSS導入を促進～

大学や研究機関などに最適なOSSを導入するための製品情報を収集し、サポートやソリューション情報をセミナーやWebで情報公開する。

この活動を通して、OSSで学びや学びに関わる業務の質を高め、効率を上げていただくことを目的としています。

# 教育ICT部会の活動詳細

- 月1回のミーティング
- OSCへの参加
- セミナーの開催

# 参加方法

- 事務局か永原までお声がけください。
- 以下のURLからも連絡できます。

<https://www.osscons.jp/ICT/>

1. AI IoT Robotics Automotive部会主催セミナー
2. オープンCOBOLソリューション部会主催セミナー
3. 開発基盤部会主催セミナー
4. 教育ICT部会
5. クラウド部会主催セミナー
6. データベース部会主催セミナー
7. 東海支部主催セミナー
8. ビジネスアプリケーション部会主催セミナー
9. 分散コンピューティング部会主催セミナー



# 2018年度クラウド部会 活動計画

---

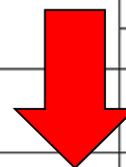
ユニアデックス株式会社  
田淵 秀

## ■国内オープンソースソフトウェア利用実態

- 企業におけるOSSの導入率は**31.3%**、前年(31.5%)および一昨年(32.0%)の調査からの大きな変化なし。
  - ✓ 産業分野別:通信/情報(39.2%)>公共/公益(37.6%)>金融(35.4%)の順。
  - ✓ 従業員規模別では、1,000人以上で導入が活発。100人~499人が最も低調。
  - ✓ 中小企業ではOSSを導入して管理する人材が乏しいのが原因？
- IaaS利用企業の**42.5%**及びPaaS利用企業の**53.1%**がOSSを積極的に使用していくという方針。

出典：IDC「国内オープンソースソフトウェア利用実態調査結果」

分野	OSS	使用率
OS	Linux系	67.3%
	BSD系	12.9%
RDBMS	MySQL	53.1%
	PostgreSQL	35.0%
アプリケーションサーバー	Tomcat	35.6%
	JBoss	12.0%
	Zabbix	16.2%
システム運用管理	Nagios	7.1%
	Chef	3.9%
	Hinemos	1.9%
システムソフトウェア	Samba	21.4%
	BIND	13.6%
ハイパーバイザー	Xen	16.2%
	KVM	10.7%
クラウド基盤	OpenStack	6.1%
	Docker	4.5%
	CloudStack	3.6%
	Cloud Foundry	2.9%
データ分散処理	Hadoop	6.8%
	Spark	1.3%
NoSQL	MongoDB	4.5%
	Scalaris	4.2%
	Cassandra	2.6%
	Hypertable	2.6%

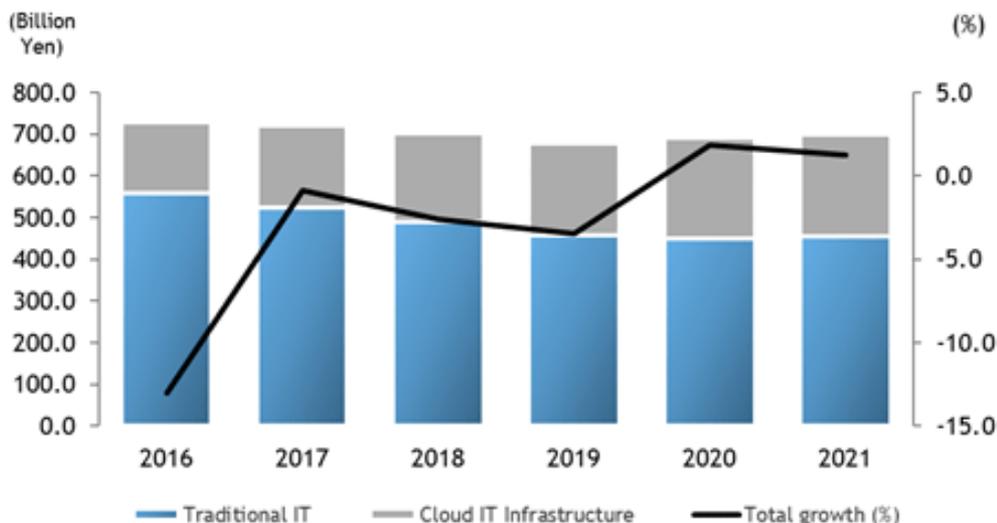


**クラウドサービスの普及がOSS利用拡大のドライバーに！**

## ■ 国内インフラストラクチャソフトウェア市場予測

- 2017年の国内インフラストラクチャ市場規模: **前年比0.9%減の7,213億900万円**
- クラウド向けインフラストラクチャ出荷: **同16.2%増の1,974億4,800万円**
- 国内インフラストラクチャ市場全体では縮小傾向にあるが、クラウド向けインフラストラクチャは成長が見込め、2016年～2021年の**年間平均成長率が7.4%**、2021年の市場規模は2,431億600万円と予測

国内エンタープライズインフラストラクチャ市場 支出額予測、2016年～2021年



Source: IDC Japan, 12/2017



# ◆ 2018年度活動計画 (1)

## (1) 目的

A) クラウド運用環境における自動化による運用コスト削減、効率化のために活用するオープンソースやビジネス活用に向けた、課題等の情報共有

① Ansible、OpenStack等のクラウド基盤を構築するためのオープンソースを活用し、次世代のSDN、IoTにおける複数・大量なNW機器・センサーデバイスを主とした実運用での運用課題・技術的解決手段の検討、PoCにおける検証を行い、部会内で情報共有を図る。

② PoCで得たノウハウを、実ビジネスでの活用の可能性についても、情報共有を図る。

## (2) 参加対象

A) オープンソースを活用したクラウドソリューションを提供している企業

B) オープンソースを活用したクラウドソリューションを提供している技術者

C) オープンソースを活用したクラウドソリューションを提供しているユーザ



# ◆ 2018年度活動計画 (1)

## (3) 活動内容

### A) ミーティングの実施(隔月1回実施)

- ① オープンソースを活用したクラウドソリューション及びクラウドビジネスの紹介
- ② 新技術・オープンソースの調査

### B) Ansible WGの開催

- ① Ansibleに対する理解
- ② Ansible、AWX(OSS版Ansible Tower)等により、参加企業で提供可能な実NW機器を活用し、運用管理の効率化に向けたPoCを行う。
- ③ 運用系Playbookの作成及びメンテナンス

### C) セミナーの開催

- ① 部会主催セミナーの実施(年1回)



# ◆ 2018年度活動計画 (③)

## (4) 活動周期

隔月1回のミーティング及びメーリングリストにより活動を実施

## (5) メリット&成果物

### A) メリット

- ① クラウドソリューション提供企業の生の情報の入手
- ② クラウドソリューション提供企業との協業の検討

### B) 成果物

- ① クラウドを構成するOSSに関する情報
- ② 実証実験の結果による、知見
- ③ Ansible、AWS活用ノウハウ

## (6) リーダー名

ユニアデックス株式会社 IT0サービス事業本部 本部長補佐 田淵 秀  
株式会社日立ソリューションズ 技術革新本部 研究開発部 主管技師 吉田 行男

お待ちしております。

お気軽に  
ご参加下さい。

クラウド部会 - OSSコンソーシアム